



佐高

スーパー グローバル ハイスクール

SGH通信 2019

No. 4 (2019年6月14日発行)

高1SGHリレー講座

クリケットU19 サモア代表チーム来校

2019年6月6日(木)、U19クリケットワールドカップ東アジア太平洋予選への参加のため来日していたサモア代表チーム(8名)を招き交流会を開催しました。

今回の企画は、元々は、昨年度1年次に「クリケットで佐野市を活性化」をテーマに課題研究に取り組んだ班の発案によるもので、今回日本クリケット協会からの依頼もあり実現しました。

生徒会による歓迎式典の後、代表チームは校内見学、いくつかの授業にも参加しました。その後、継続研究を進める同班が中心となってゲームを通しての交流会を行い、最後に第2体育館でクリケット体験を行いました。

短い時間ではありましたが、希望者を中心とした中高約50名が交流を楽しみ、また代表チームメンバーの方に直接クリケット指導を受けることができ大変有意義な交流会となりました。

- | | | |
|-------|-----------------------|-------------------|
| 10:00 | 歓迎会(選択4教室) | 生徒会、関係研究班、SGHクラブ等 |
| | ①学校長挨拶 | ②生徒代表歓迎の言葉 |
| | ③佐野&佐高紹介 | |
| | ④サモアチーム代表挨拶 | ⑤記念写真 |
| 10:30 | 休憩 | |
| 10:35 | 授業見学 | |
| 11:00 | 交流会(高2研究班によるゲーム等) | |
| 11:45 | クリケット体験(第2体育館)*希望者による | |
| 12:30 | 終了 | |



生徒会長歓迎の挨拶



生徒会による佐野市及び佐高の紹介



高2研究班による交流ゲーム





授業での交流



中学生による合唱



クリケット体験



集合写真

<生徒の感想>

最も印象に残っているのはクリケット体験です。今までクリケットを見たことはありましたが実際にやるのは初めてでした。投げる、打つという動作が見た目以上に難しいことがわかりクリケットについて知るいい機会となりました。会長挨拶で「日本の文化を伝えるだけでなくサモアの文化を知りたい」と言いましたがそれを十分にできよかったです。大畠明久（高3）

高1年次の研究からの目標であった外国人クリケット選手との交流会が実現できてとても嬉しい。交流会の企画・運営は難しかったが、中高生の参加者だけでなくサモアの選手の方々も楽しんでいる様子が見られて、この交流会を実施して本当によかったと強く思った。今回の佐高での交流会を第一歩として、今後も「クリケット」をきっかけにした国際交流の輪を更に広げていきたい。 店網泰吾（高2）

始めは自分の英語で通じるのかなど多くの不安がありました。様々なゲームを通して沢山コミュニケーションをとり協力することができました。クリケット体験ではサモア代表の皆さんが時々ユーモアを交えながらわかりやすく教えてくれ、終始笑顔で体験できました。これからもこのような機会に積極的に参加したいです。 新井優平（高1）

今回クリケット体験に参加してみて、サモアの方々と話し合うのは難しかったけれど、一緒にゲームをしたりして、とても仲良くなれたと思いました。クリケット体験では、身振り手振りで教えてくださって、知識がより深まったと思いました。またやってみたいです。 内田紘心（高1）

私はこの活動で、外国の方と話すことの難しさ、クリケットの難しさを知ることができました。私は中学生ということもあり、高校生と同じようにコミュニケーションがとれるのかという不安がありました。ですが、高校生が助けてくださりコミュニケーションをとることができました。クリケット体験では初めてボールを投げたり、打ったりしました。ボールを投げることは難しく、改めてクリケット選手のすごさがわかりました。この活動をこれからは活かしていきたいです。佐藤遙都（中2）

クリケットは小学校の時に少し習い事としてやったことがありましたが、ルールやボールの投げ方を覚えていませんでした。今回の体験でボールの投げ方、バットの持ち方を学ぶことができたことはとても良い学習になりました。
松尾夏奈（中1）